



伊藤 房代 議員



学校給食の完全無償化について

問 第3子以降の給食費は無償化となっているが、第1子から完全無償化できないか。

答 第1子からの完全無償化については、恒久的な財源の確保が不可欠。国の少子化対策や県の補助制度等の動向を注視し、財政状況等を考慮しながら市民の負担とならないよう検討したい。

「書かない窓口」の導入について

問 窓口で証明書の請求や届出を行う際に申請書を書かないで済む「書かない窓口」をデジタル田園都市国家構想の交付金等を活用して導入できないか。

答 「書かないワンストップ窓口」の実現に向け、デジタル庁は令和6年度には、希望する市町村が有償で利用できる窓口DXソフトを全国展開するとしている。市としては、国のスケジュールに沿った形で導入を進め、市民の利便性の向上とともに行政の業務改革にも取り組む。

※DX(デジタル・トランスフォーメーション)：デジタル技術の活用により、社会制度や組織文化等も変革していくような取り組み。

道路の安全対策について

問 イオンタウン旭北側交差点に信号機の設置はできないか。

答 旭警察署と千葉県警察本部等との協議の結果、令和5年8月末までの予定で信号機設置の準備を進めている。なお、市においても区画線の書き換え工事等が必要となってくるので、今後旭警察署等と連携し、安全対策を実施していきたいと考えている。



信号機が設置されるイオンタウン旭の交差点

その他の質問事項

- 「防災士講座」の開催について
- 不登校児童・生徒への支援について

市長の選挙公約について

問 マニフェスト達成にむけた進行管理はどうなっているのか。

答 「豊かな旭を次世代へつなぐために」をスローガンに、全庁各課を対象にヒアリングを実施し、協議を重ねてきた。市の最上位計画である第2期総合戦略との整合性を図り、課題や問題点を整理しながら、着手しているところである。

学校教育の充実について

問 休日の部活動の地域連携や移行はどうなっているのか。

答 国や県の方針に基づき、準備を進めている。令和5年度から地域の実態を踏まえながら段階的に進めていく予定。

子育て支援の充実について

問 干潟保育所の完全民営化について、契約に向けての進捗状況はどうなっているのか。

答 令和5年4月1日に行政財産から普通財産へと変更。

現在は、学校法人旭鈴木学園と土地使用貸借契約及び建物に関する公有財産無償譲渡契約を取り交わすため、事務手続きを進めている。園舎の不動産鑑定の評価金額は5800万円程度であるが、近い将来、建て替えて1億7000万円からの予算が必要となる。今無償で渡せば、市民の税金が安く済む、使わずに済む。これは旭市のためであり、旭市民のためになる。と考える。

千葉県議会議員一般選挙について

問 市長と県議との2連ボスター揭示の目的、根拠は何か。

答 政治活動団体が演説会の告知を目的として揭示したものの。演説会の弁士として両名が立つことを案内するポスターであり、地方政治に携わっている市長の政治活動の一環である。政治活動と選挙運動は目的が異なるものであり、選挙において特定の者を支援、応援している旨を市民に訴えるものではない。



伊場 哲也 議員

